

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	公用自動車管理事業	所管	財務部 管財課
			TEL 2998-9053

事業の目的 (何の為に 行うか)	公用車の円滑な管理及び低公害車の導入の推進
------------------------	-----------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	管財課が所管する自動車等(消防本部、消防署、医療センター及び水道部に属するものとは情報交換を進める。)	対象とした数	140	台
		実際に 利用した数	140	台

活動の内容	(何を したか)	①使用する車両の完全予約制 ②適正運転やISO14001推進のための運転 ③機械操作ラック式駐車場の定期点検の実施 ④低燃費かつ低排出ガス認定車を中心とした低公害車の導入 ⑤省エネ運転研修													
		活動実績	項目名	低公害車の導入実績	11	単位	台	項目名	低公害車の導入実績	61	単位	台	項目名	自転車利用に伴う二酸化炭素の削減量	1666

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	51,523	51,000	116,570	343.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	低公害車の導入率	低公害車導入台数÷管財課管理車両台数	30	43	143.3
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	020200	TEL	2998-9053
事業コード	公用自動車管理事業					
020207						
開始年度		昭和 62 年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令		
	分野別計画・指針	所沢市自動車等管理規程 環境マネジメントシステム					
	関連・類似事業						
	総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向け	施策	3節 行政運営	中柱	小柱
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 35 位 ・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○ 行政改革大綱における行動計画への位置づけ コード						
事業開始の背景	現庁舎移転時に公用車の集中管理方式に切り替えた。また、平成11年度のISO14001認証取得以来、大気汚染の防止や地球温暖化の防止の観点から低公害車の導入を促進してきた。						

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	公用車の円滑な管理及び低公害車の導入の推進								
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方					
	管財課が所管する自動車等(消防本部、消防署、医療センター及び水道部に属するものとは情報交換を進める。)			車両の台数					
	対象数	単位	平成 18 年度	148	台	利用数	単位	平成 18 年度	148
		平成 19 年度	140	台			平成 19 年度	140	台
事業の具体的な内容及び実施方法									
①使用する車両の完全予約制 ②適正運転やISO14001推進のための運転 ③機械操作ラック式駐車場の定期点検の実施 ④低燃費かつ低排出ガス認定車を中心とした低公害車の導入 ⑤省エネ運転研修									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
地下駐車場のラックの支柱に衝撃吸収用のスポンジガードを装着した。これにより車両の接触事故が減少した。						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		52,892	51,523	52,834	
	決 算 (見込み含む)		50,268	51,000		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(1.00 人) (人) (1.00 人) (人)				
	正規職員人件費	6.98 人	64,216	6.98 人	65,570	
	公債費					
	事業費合計		114,484	116,570		
	財源内訳	一般財源		108,975	113,570	49,834
		国・県支出金				
		受益者負担金				
市債						
その他		5,509	3,000	3,000		
市民一人当たり(単位:円)		338.8	343.8			
利用数一単位あたり(単位:円)		773,540.5	832,643.7			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	低公害車の導入実績	新規購入車両台数	台	11	11	11	
		低公害車の導入実績	累積導入台数	台	50	61	72	
		自転車利用に伴う二酸化炭素の削減量	利用回数×走行距離×1km当たりの消費燃料×排出係数(2.3587)	kg	1551	1666	1750	
	成果分析	低公害車の導入率	低公害車導入台数÷管財課管理車両台数	目標値	30	30	40	
実績				33	43		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2 1	
			%	達成率	110.0	143.3		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	現在の公用車予約システムは導入してから年月が経過しているため使わずらく、またレスポンスも遅い。さらにメーカーサポートも切れているとのことでありシステムの更新が望まれる。				
評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定 公用車の事故ゼロに向けた取組みを強化する。 安全運転管理者等連絡会による情報提供 安全教育的の充実 低公害車化をさらに進める。	交通事故の減少			
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	引き続き計画的に低公害車の導入を推進していく。現在、ガソリン価格が高騰しており公用車の適正な利用が求められる。天然ガス車両は20台保有しているが、ガス充填施設が不足しているため導入の際の課題となっている。				
評価日	記入者職氏名 管財課長 堀中 雅寛				

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
事前評価	部内優先順位… 5 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
事後評価	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由	公用車の更新にあたっては、可能な限りより省燃費で環境負荷の低い軽車両を導入することで経費の縮減にも努められていることから、「引き続き実施」と評価した。また、ISO推進の観点からも着実に事業を進められた。					
評価日	9月1日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	111	311		
	施策の方向	1-1大気汚染の防止					1-1-1自動車排ガス対策の推進	
		3-1地球温暖化の防止						3-1-1エコ・モビリティの推進
	◎次世代育成支援行動計画		本事業の左記計画における位置づけ…無し	計画コード				
	基本目標							
主要課題								
施策の方向								